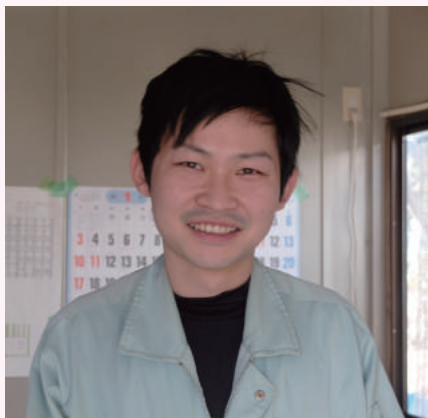


# 先輩社員に聞く電気工事の魅力



## 桑原 圭司

株式会社新和電工  
工務課

2013年3月卒業 同年4月入社  
出身校 東京工学院専門学校

### ――就職活動はどのように進めたのでしょうか？

**桑原** 学校で行われている業界セミナーや就職セミナーに参加して基礎的な知識を身につけた上で、キャリアセンターに置いてある求人冊子に目を通し、先生のアドバイスを受けながら、数社の電気工事会社をピックアップしました。

### ――企業を選ぶ基準はどこにあったのでしょうか？

**桑原** 私が在籍していた専門学校では、ビル管理や保守の求人が多かったのですが、私は工事関係の仕事に就きたかったため、工事関係の求人を行っている企業を中心に選びました。そのことがもっとも重要な選択基準でしたが、自宅から通える範囲であるということも重要視していました。

### ――新和電工に入社した動機を教えてください。

**桑原** 数社の電気工事会社をピックアップした後に、ホームページを見て情報収集しました。これだと感じた企業5社を選定し、全ての企業の面接を受けました。新和電工は、企業説明会に参加し、その際の社内の雰囲気が高く、特に担当者の印象がすごく良かったことを覚えています。

面接に進んでからも、最初に感じた印象が強く残っていたことが影響しているのかもしれませんが、内定がもらえたら、他の企業から内定が出て、新和電工に入社しようと決めていました。実際に入社して感じることは、自分自身の直感を信じるのが重要だということです。

### ――現在はどのような仕事を任されていますか？

**桑原** 今は食品メーカーの製造工場現場管理の仕事をしています。基本的には先輩に付いて、仕事を覚えていく段階です。ありがたいことに先輩は分からないことがあれば、どんなことでも聞いてくれ、と言ってもらえているので、分からないことがあれば聞くようにしていま

す。聞くことをちゅうちょしてしまうと、最終的に会社を含めたさまざまな人たちに迷惑を掛けてしまう危険性も考えられるので、もちろん一回教わったことは別として、分からないことがあれば聞く、と決めています。

### ――一人で任されている作業範囲はどこまでですか？

**桑原** 工程管理や協力会社への指示、材料の発注は基本的に任されています。ただ、先輩の仕事を見ていて感じることは、お金の管理と人の手配の難しさです。この二つを任せてもらうためには、数多くの現場をこなしてさまざまな経験をし、自分自身の引き出しを増やしていかなければいけないと感じています。

### ――現場代理人のコミュニケーション能力については。

**桑原** 私は年上の人たちとコミュニケーションを取ることに関しては、それほど苦労した記憶がありません。性格的な部分もあるのかもしれませんが、自分から話しかけていました。会話の内容は仕事のことよりも趣味などのプライベートな内容が多かったです。気難しい人もいるかもしれませんが、話しかけてみれば意外と会話がはずむことが多かったです。

### ――働いている中で、どのような時にやりがいを感じますか？

**桑原** ほとんどの作業工程を一人で任されたことがありました。工事規模もそれまでに経験したことがないような大きな規模だったので、緊張しましたが、同時に責任感もわいてきました。工事が始まる前は不安もありましたが、結果的には納期内に納めることができました。工事が完成して、お客さまに喜ばれた時は、本当にうれしかったですし、一人で責任を持って仕事することに感動を覚えました。これは、建設業でなければ味わえない感覚だと思います。